

その人にしかできない仕事



最近私の高校生の娘が東野圭吾の小説に心酔しています。私も娘の読み終わった小説を時々読みながら感心しています。理系の人間が書いているためなのか、話の展開が分かり易くて娘が夢中になるのが分かるような気がします。そして何よりも、毎回よくこれだけ異なる物語を作り上げるものだと感心させられます。名探偵コナンのアニメも休日の夕飯時にたまたま娘につられてつい見てしまうことがあります。これまた毎回毎回よくぞ様々な事件の展開を考え出すものだと感心しています。

小説や、アニメばかりでなく、音楽や絵画や芸術の世界はもとより、工業製品にもそうしたものが多くあります。個人が創り出した新しい創造物の世界に多くの人々を夢中にさせるというとは何と素晴らしいことでしょうか。

これまでになかった全く新しい世界を創り出し、それにより人々の心をつかむ、そんな仕事をしてみたいものです。勿論特別の才能を持たない私達が、高望みをしても実現できるものではありません。しかし、せめて普通の仕事に就いたときでも、その人にしかできないような仕事ぶりが出来れば何よりですね。そのためにも、人まねや、言われたことを言われた通りにするのではなく、いつも自分から色々アイデアを出し、工夫して仕事が出来ようになりたいものです。そうすればその人は職場ではなくてはならない人材になっていくでしょう。



二次募集への対応

就職試験の二次募集が極めて少なく、二次を待っている人にとっては何とも悩ましい状況かと思えます。ただ当面1次で充足しなかった企業からの求人がある。またその後数社から求人票も出ています。しかし意外に皆さんの反応が悪いのが少し気になります。

待っていればよいところが出てくるかもしれないという可能性は否定できません。しかし逆に求人があるときに、少しでも気になる企業が有れば検討することも必要でしょう。この後どれだけ求人が出るのか不安です。本当に卒業式後も進路が決まらない生徒がかなりの数になる可能性も有ります。自分は大丈夫などと思っている人は大間違い。難しそうだからと尻込みしていると本当に後が無くなります。

二次の試験は決まった日に一斉に行われるわけではありません。希望が出たところから順次実施され、充足すれば企業は求人打ち切りです。しかも希望者は本校だけではありません。早い者勝ちという世界とも言えるでしょう。

失敗を恐れて尻込みしているとすれば、それは間違いです。少ないチャンスを次々に見逃してはなりません。落ちてダメ元と開き直り、あえて前向きにチャレンジするタフさも必要です。またどうしようと悩んでおらず良さそうなところは見学してから考えましょう。

先が読めない中で今動くか後で動くかは悩ましいところですが、少しでも良さそうなところが出てきたら是非早めに進路まで申し出てください。